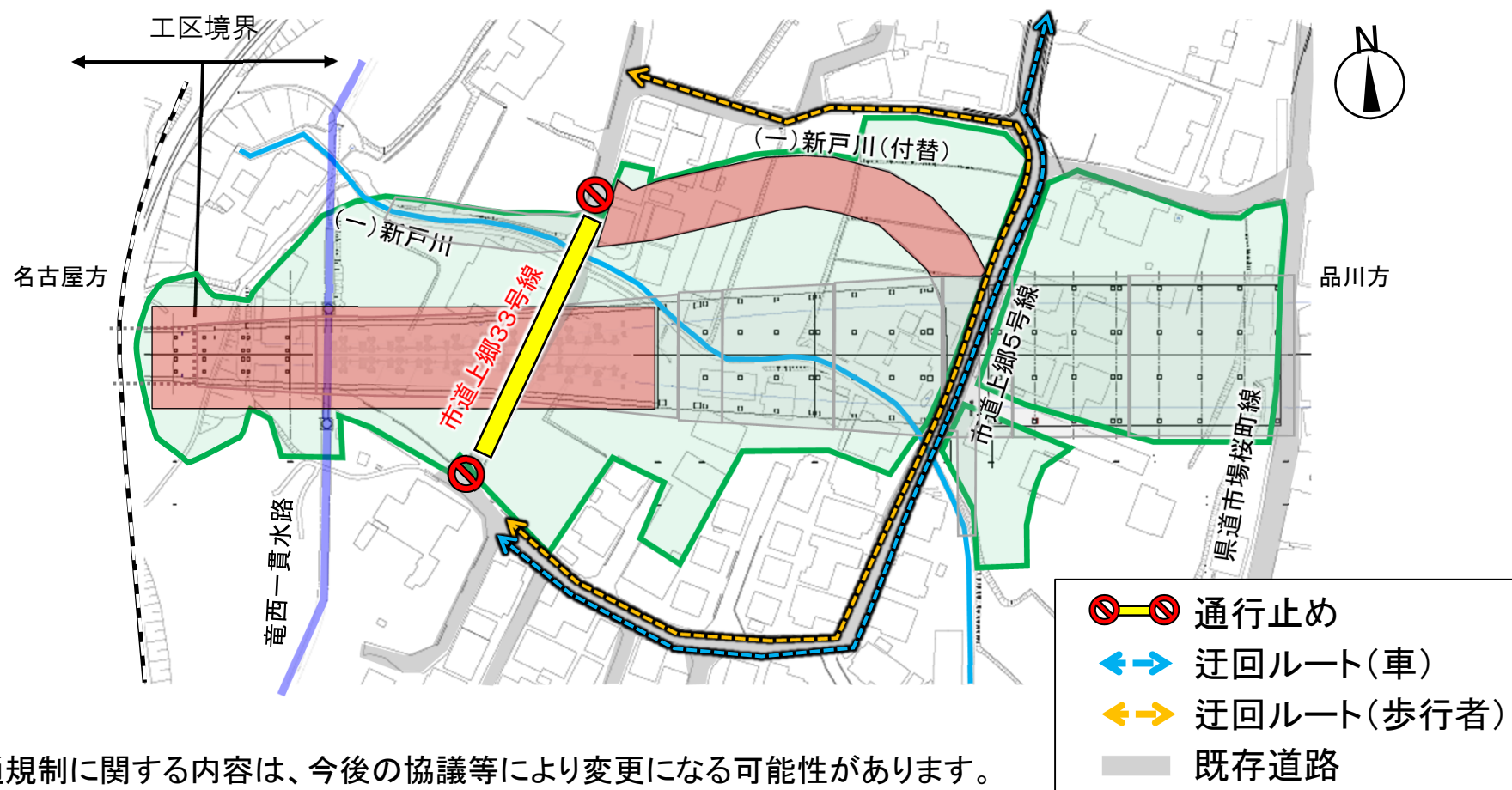


【風越山トンネル発進坑、新戸川曲線部施工時】

市道上郷33号線

2024年(令和6年)冬頃～2025年(令和7年)夏頃まで、通行止めが必要になりますので、市道上郷5号線へ迂回いただくことを考えております。



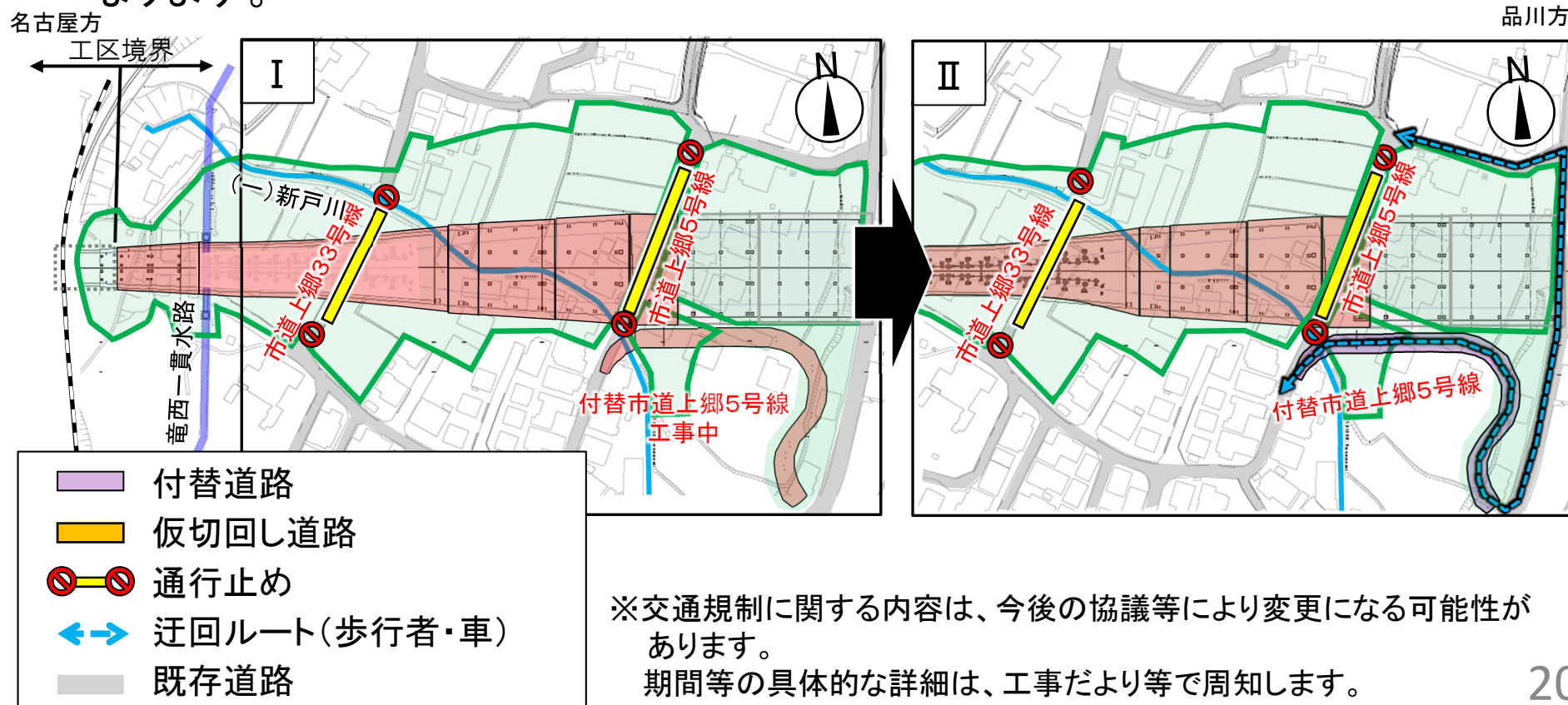
※交通規制に関する内容は、今後の協議等により変更になる可能性があります。
期間等の具体的な詳細は、工事日より等で周知します。

【風越山トンネル発進坑、上郷5号線施工時】

市道上郷33号線・上郷5号線

I 2025年(令和7年)夏以降、通行止めが必要になります。リニア本線の南北を結ぶ歩行者動線を確保する計画ですが、具体的な計画を検討中のため、計画が固まり次第事前にご説明いたします。

II 市道上郷5号線の付替道路開通後は、付替道路を経由しての迂回が可能となります。



交通規制—高架橋区間(駅東部)—

【高架橋A・B構築時】

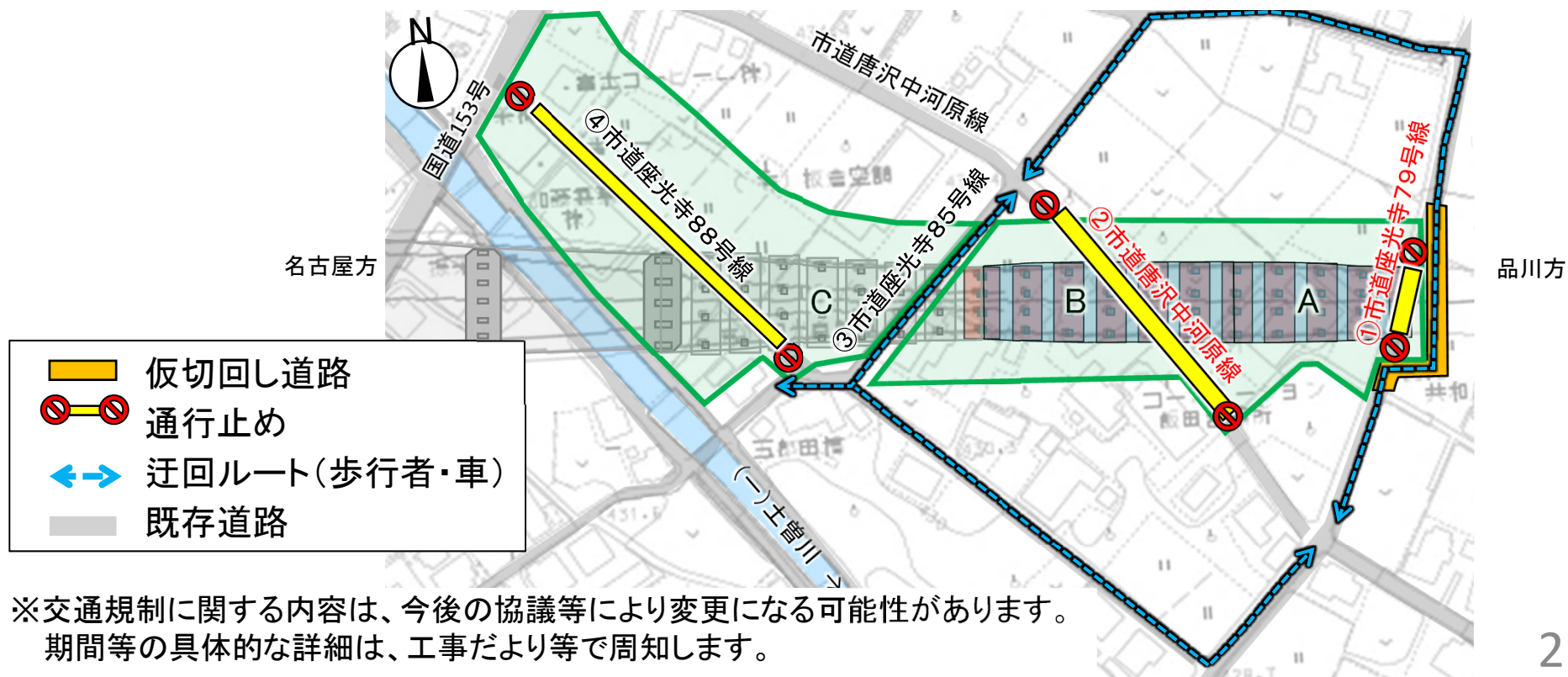
①市道座光寺79号線

2026年(令和8年)以降通行止めが必要になるため、仮切回し道路を通行いただくことを考えております。

②市道唐沢中河原線

2026年(令和8年)以降に通行止めが必要になるため、市道座光寺85号線または座光寺79号線仮切回し道路へ迂回いただくことを考えております。

※①、②が同時に通行止めとなることはございません。



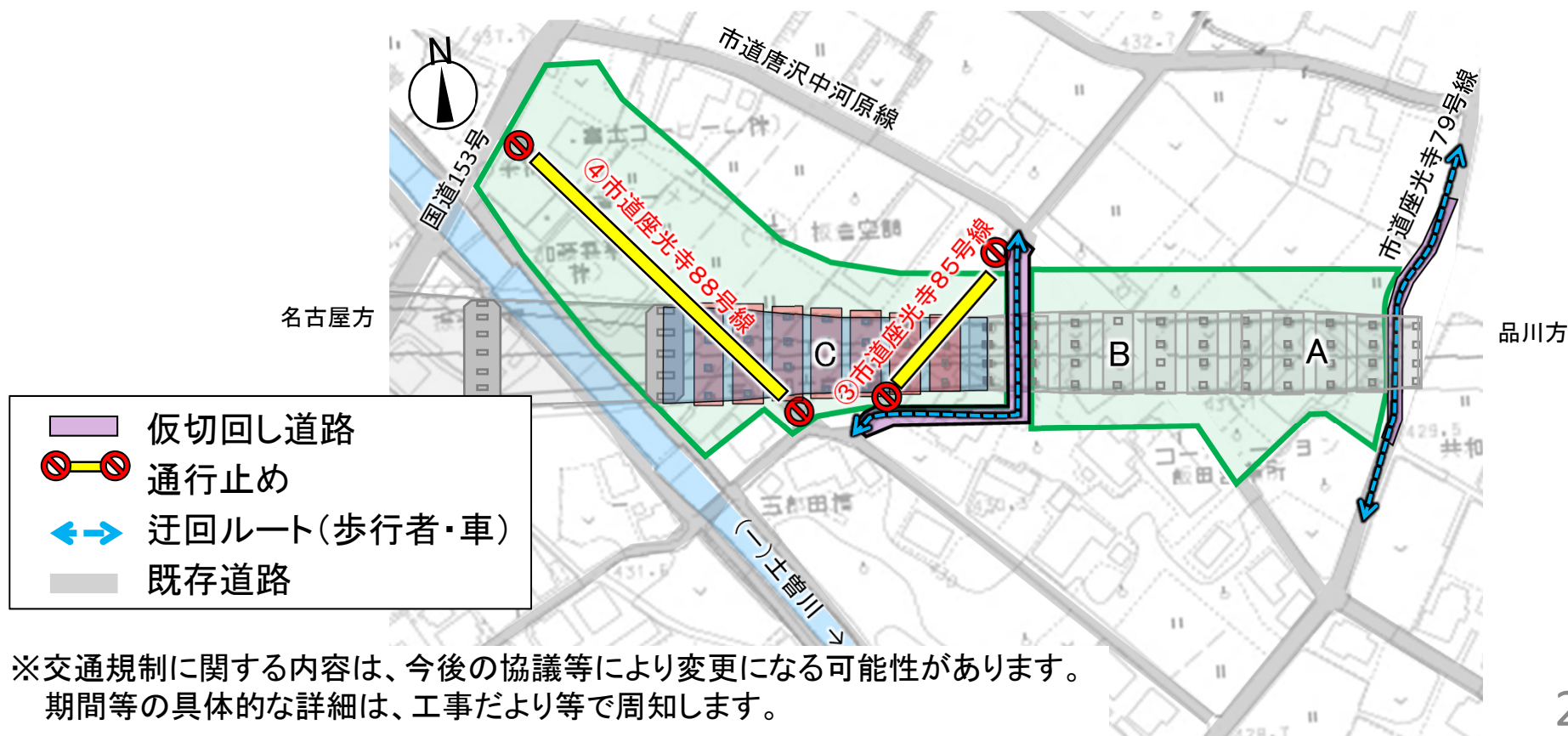
【高架橋C構築時】

③市道座光寺85号線

2027年(令和9年)以降通行止めが必要になるため、新しく整備する付替道路を通行いただくことを考えております。

④市道座光寺88号線

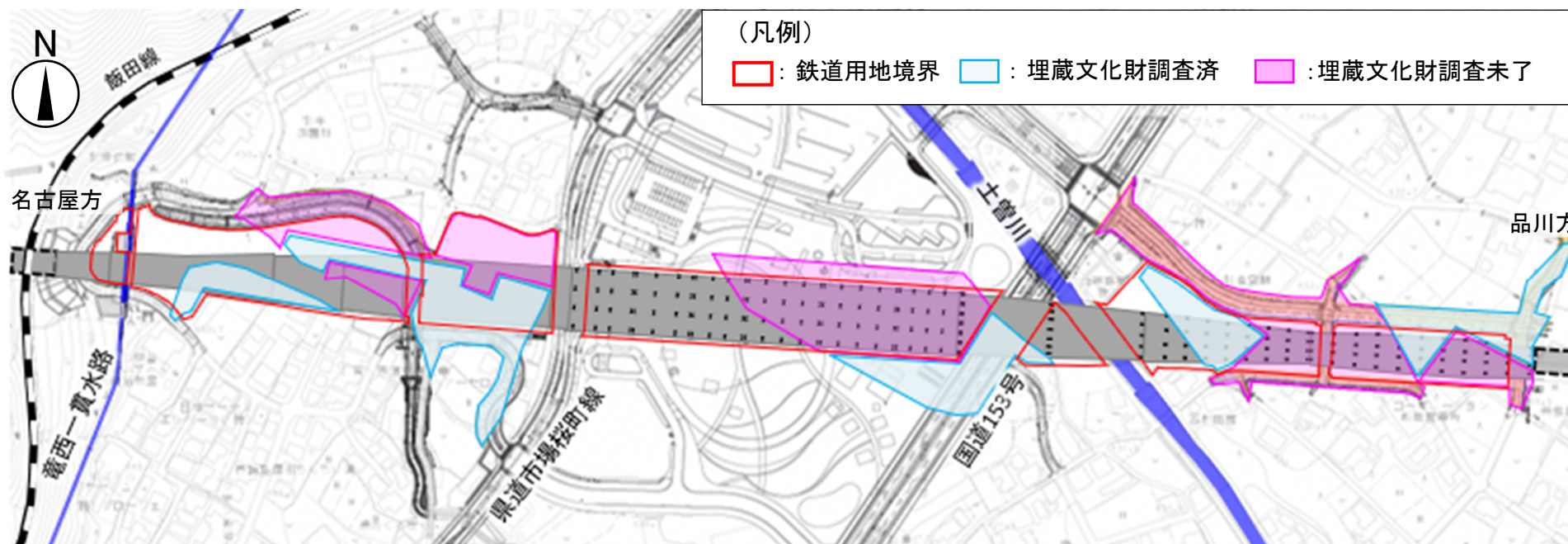
これまで通り、通行止めが必要になるため、周辺の既設道路および付替道路へ迂回いただくことを考えております。(将来的に市道座光寺283号線として付替)



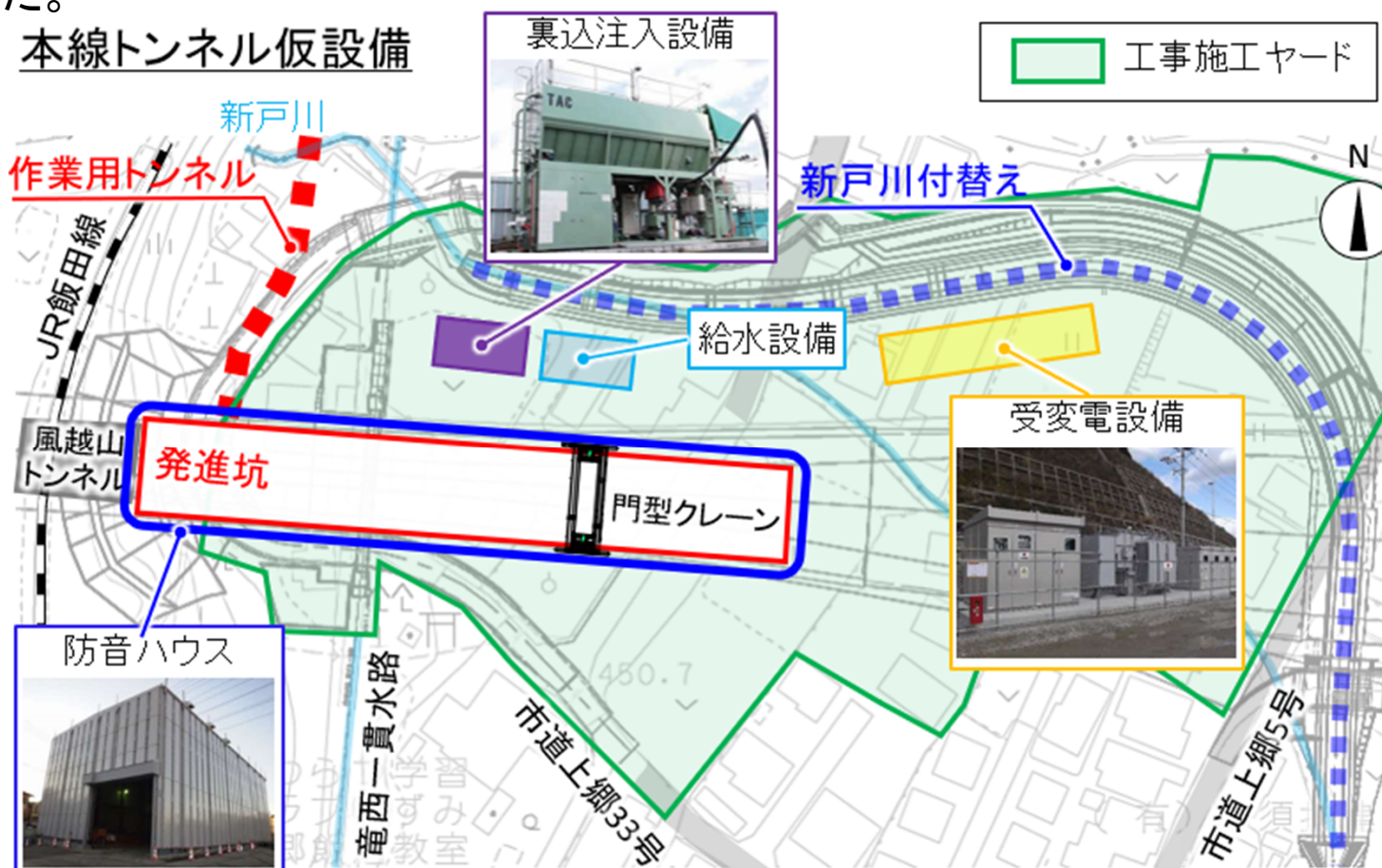
先行着手工事区間を実施してきているところではありますが、現在の用地取得や道水路工事の協議状況、埋蔵文化財調査の進捗等を鑑み、今回、工事計画を精査し、工事期間を2031年(令和13年)12月まで延伸します。

【工事工程遅れの主な要因】

- ①用地取得手続きの長期化や埋蔵文化財調査の一部未着手及び長期化のため、現時点で工事着手できないエリアがあります。また、調査完了箇所が一部に留まり一体的な工事施工ヤードが確保できないため、施工効率が下がり、想定よりも時間を要してしまいます。
- ②工事に先立つ道水路の付替え等の協議において、将来の維持管理を含めた計画の深度化及び調整に時間を要したため、施工計画及び工程の変更が必要になりました。



- ③風越山トンネル(上郷)の本線トンネル掘削のため、土構造区間(駅西部)の一部に工事施工ヤードやシールド発進坑を整備し、トンネル仮設備を設置します。そのため、本線トンネル完成後に土構造区間(駅西部)の駅構造物に着手することになります。
- 現在、上郷工区の工事に着手できていないことを鑑み、施工計画及び工程の変更が必要になりました。



※今後の設計・協議等の進捗により変更になる場合があります。